

平成28年度 香ヶ丘リベルテ高等学校 学校評価

1. めざす学校像

建学の精神である「愛と真実の教育」「情操豊かな女子教育」を基本とし、新しい時代にはばたく力、生きる力を育む女子教育の理想をめざす

1. 明朗な女性の育成
2. 知性豊かな女性の育成
3. 実行力のある女性の育成

2. 中期的目標

1. 特色授業や行事を通して専門性を高める

(1) 本校独自の特色授業や行事を充実させる。

<表現教育科>

ア 表現教育科は、『リベラルコース』『アクティブアートコース』の2つコースがある専門学科で「ダンス」「楽器・ボーカル」「演技・声優」の表現教育科目を中心に「スピーチ」「ディベート」「プレゼンテーション」などの言語表現法を学習し、自己表現力、コミュニケーション力を育み、表現力豊かな女性の育成を目指す。

※自己評価アンケートで、表現教育科目の授業で専門性・自己表現力・コミュニケーション力を高める達成度を95%にする。

イ 発表する行事を設ける。発表の場所や鑑賞してもらう人などの設定を変え、さまざまな環境でより自己表現力と専門性を高める。特に修学旅行のグアムでは、「海外ライブ」としてステージの発表を披露し、海外で現地の方含めてたくさんの人の前で自己表現する。

※自己評価アンケートで、発表する行事を通して自己表現力・専門性を高める達成度を95%にする。

<普通科>

ア 普通科では、『美容芸術コース』『ファッションビジネスコース』『保育進学コース』『フィジカルコース』『アンダンテコース』に『ライフデザインコース』が加わりの6つのコースがある。さまざまな分野の知識や専門性を高めたり、自分の進路をゆっくりと考えて学んだり、それぞれコースの特色授業を通して夢に向かう生徒たちをサポートする。また、「実践的キャリア教育・職業教育支援事業」を踏襲しながら、各コース実習授業、資格取得や教育講演などを通してより専門性を高める。

※自己評価アンケートで、普通科の各専門的な授業で生徒の専門的な知識や技術を高める達成度を75%にする。

イ 各コースに応じた行事を設定する。その行事を通して、体験プログラムを実施し、より専門的な知識や技術を身につける。

※自己評価アンケートで、普通科の各コースに応じた行事で生徒の専門性を高める達成度を85%にする。

2. 個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現

(1) 授業だけでなく、「勉強塾」や「セミナー」、「自習室の開放」、「つまずき0プロジェクト」、「0限目授業」、「寺小屋」、「早朝テスト」など学習環境を整備し、生徒に学習する場を与える。そして学習習慣の定着をさせ、学力向上につなげ目指す進路の実現をする。

注)「寺小屋」は小規模で行っているため、「寺子屋」でなく「寺(小)屋」にしています。

<表現教育科>

ア 「勉強塾」では、国公立大学・難関私立大学の進学実績を上げるために放課後7・8・9限目に、目指す生徒対象に2年次までは本校教員により授業形式・個別指導形式で行い、3年次では外部の予備校講師による受験対策講座を実施する。

※「勉強塾」参加生徒の希望する進路の実現率を85%にする。

イ 家庭学習の習慣が身についてなかったり、学校以外に学習する場がない生徒がいる中、「セミナー」、「自習室の開放」「早朝テスト」を活用し、勉強が苦手な生徒にも学習する場を与え、学習習慣を身につけさせる。

※平成28年度卒業の表現教育科3期生の進路決定率を95%にする。

<普通科>

ア 「つまずき0プロジェクト」では「数が苦」を「数楽」にする。苦手な数学を小学生の問題までさかのぼり、どこでつまずいているのかを確認し、本校のオリジナルテキストを使用し徹底的に苦手分野に取り組み克服する。

朝礼前には「0限目授業」、朝礼中は早朝テスト「朝漢(あさかん)」、定期考査前の放課後には「寺小屋」、土曜日の放課後には「イングリッシュカフェ」に取り組み、個々に応じた学習環境を整備する。

※自己評価アンケートで個々に応じた学習環境の整備により、学習する場を与える達成度を70%にする。

3. 身だしなみ・マナー指導による女子教育

(1) 生徒のマナー意識を高め、頭髪・服装指導を徹底し、身だしなみを整える。

<表現教育科・普通科>

ア 「リベルテマナー」(社会生活3つの基本)として「挨拶・返事・言葉遣い」を大切にし、リベルテ美人(身だしなみが整い、マナーが良いリベルテ生のこと)を目指す。

※自己評価アンケートのマナー意識の達成度を80%にする。

イ 身だしなみ指導として、頭髪・服装指導を徹底する。自分の母校となる学校の制服にプライドを持たせ、身だしなみを整えることにより、より本校の魅力を示す。

※自己評価アンケートの身だしなみ・服装・頭髪指導の達成度を90%にする。

＜教職員＞

☆特色授業や行事を通して専門性を高める

＜表現教育科＞

- ・専門的な授業で生徒の専門性・自己表現力・コミュニケーション力を高めるという達成度は87.5%と昨年度(91.7%)より若干下がったが、身体表現の授業で自己表現力を高めることが100%の達成度になった。また、例年課題にしている言語表現科目でのコミュニケーション力を高める達成度が、昨年度と同じポイントになっている。それぞれの授業の中での、教員側が求めるものが高くなっていることと、生徒の中で先輩後輩の関係性でいつながりが出てきている傾向がある。そのために、自信を持って表現できるようになってきている。

学校行事においての自己表現力と専門性を高めるという達成度は今年度100%(昨年度90.9%)になった。常に教員だけでなく生徒もよりいいものにしていきたい意識を持っている。今まで経験してきたことをPDCAサイクルで総括しながら、準備していった結果でもある。また、保護者や外部の中学生などにも観覧してもらった感想からも非常に満足度の高い取り組みにそれぞれなっている。今後も生徒が主体的に関わることができる行事計画および運営をしていき生徒たちの自己表現力と専門性を高めていきたい。

＜普通科＞

- ・普通科では新たに「ライフデザイン」コースが加わった。3年間で6つの資格を取得できるコースとしてスタートした。各コースの専門科目の知識及び技術習得の達成度は55% (昨年度62.3%)にとどまった。キャリア教育を中心として、新しいことにも取り組んできていることもあり、これから更に改善をしていき生徒の知識や技術習得の達成度を高めていきたい。また、基礎学力の向上を目指し授業及び課外の取り組みについても力を入れていきたい。生徒のやる気につながる仕掛けを今後も考えていく必要がある。各コースの特色を全面的に出して、学習面に限らず行事面も並行して本校だからこそ出来る生徒の将来の可能性を広げていく教育を展開していきたい。

☆個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現

- ・「勉強塾」や「セミナー」、「自習室の開放」、「つまずき0プロジェクト」、「0限目授業」、「寺小屋」、「早朝テスト」などの学習環境は整備されてきた。しかし、授業を大切にさせることが昨年度と比べ、70.2%(昨年度92.5%)とポイントを下げている。これは特色授業と同様に先生方の意識が年々高くなっていることによるものである。求めるものが高くなってきているので、それに相応する生徒へのアプローチを考えないといけない。今まで通りではなく、中身を充実させていくことが課題である。H28年度より、ICT教育の一環として、始めた学習支援のクラウドサービス「Classi」については、使う教員側も慣れることから始めている状態だが、生徒への発信も様々な用途に活用を始めている。更に、アクティブラーニングなどにも活用をしていきたい。
- ・生徒の進路目標の設定をさせることについては、72.9%と昨年度(75.6%)より下げってしまった。大学入試もAO入試から公募制の推薦など、一般入試までの入試がさまざま設定され、実際に進路選択に最後まで迷う生徒もいる。しかし、教員はその最後までその生徒に寄り添いながら、ひとり一人の納得いく進路選択ができるように努力をしている。これから、高大接続による大学入試が大きく変わっていくことに教員もしっかりと対応して、生徒の進路目標設定のサポートをしていきたい。
- ・個々に応じた学習環境の整備により、生徒に学習する場を与えられたことについては、43.2%と昨年度(48.8%)を下回った。学習する場を与えるだけではなく、その中身を生徒に対応した充実したものにしていく必要がある。これからも、計画性を持って一部の教員だけではなく、全教員で取り組める意識を持って、生徒の目指す進路の実現をサポートしていきたい。

☆身だしなみ・マナー指導による女子教育

- ・平成28年度も「リベルテマナー」(社会生活3つの基本)として「挨拶・返事・言葉遣い」をマナー指導の方針として取り組んだ。その中で、マナー指導の工夫・改善については67%と昨年度(68.3%)とほぼ同じであった。教員が月替わりで月間目標の設定をしてきた。生徒や学校の理想像をイメージした内容にしてきた。挨拶運動なども含めて、生徒を巻き込みながらマナー指導の取り組みをしてきたが、ここでも、より良いものという教員の高い意識が結果的に達成度が厳しい評価になって出てきている。生徒のマナー意識を高めることについては、59.4%と昨年度(65.8%)を下回った。ポイントは下がっているものの、校内だけでなく校外でも生徒からの挨拶が当たり前ようになってきている。学校として、先輩が良い手本になってきている証拠である。
- ・身だしなみ・頭髪・服装指導を徹底することに関しては、81%と昨年度(82.9%)とほぼ同じであった。引き続き、自分の母校となる学校の制服にプライドを持たせ、正しい着用をすることにより、より本校の制服の良さや魅力も示していきたい。指導の工夫・改善については75.6%と昨年度(80.5%)と指導への慣れが出ないように、更に工夫改善をしていきたい。

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取り組み計画・内容 | 評価指標 | 自己評価 |
|------------------------------|--|---|---|--|
| <p>1. 特色授業や行事を通して専門性を高める</p> | <p>(1)本校独自の特色授業や行事を充実させる。 <表現教育科> ア特色授業の取り組み</p> <p>イ発表する行事を設ける。</p> <p><普通科> ア夢に向かう生徒たちをサポートする。</p> <p>イ各コースに応じた行事を通してより専門的な知識や技術を身につける。</p> | <p><表現教育科> ア・「ダンス」「楽器・ボーカル」「演技・声優」の表現教育科目を中心に「スピーチ」「ディベート」「プレゼンテーション」などの言語表現法を学習し、自己表現力、コミュニケーション力を育み、表現力豊かな女性の育成を目指す。</p> <p>イ・発表の場所や鑑賞してもらう人などの設定を変え、さまざまな環境でより自己表現力と専門性を高める。特に修学旅行のグアムでは、「海外ライブ」としてステージの発表を披露し、海外で現地の方含めてたくさんの人の前で自己表現する。</p> <p><普通科> ア・「美容実習」「メイク実習」「ネイルアート」「ファッション造形」「ショップコーディネート」「チャイルドヘアメイク」「キッズイングリッシュ」「ピアノ」「朗読」「保育理論」など、さまざまな分野の特色授業によって、専門的な技術や知識を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アンダンテ実習」では、「職業・職種研究」から「進路プランニング」を立て、自分の進路を3年間かけてゆっくりと考える。 ・「実践的キャリア教育・職業教育支援事業」を踏襲しながら、各コース実習授業、資格取得や教育講演などを通してより専門性を高める。 <p>イ・各コースに応じた行事を設定する。「美容メイクショー」「ファッションショー」「ネイルアート展示」「アクセサリー販売」「保育実習」などの行事を通して、より専門的な知識や技術を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企業見学会」「大学見学会」「キャリア教育講演会」「アンダンテ発表会」などの行事を通して、自分のやりたいことを見つけ、専門性を高めていく。 | <p><表現教育科> ア自己評価アンケートで、表現教育科目の授業で生徒の専門性・自己表現力・コミュニケーション力を高める達成度を95%にする。</p> <p>イ自己評価アンケートで、発表する行事を通して自己表現力と専門性を高める達成度を95%にする。</p> <p><普通科> ア自己評価アンケートで、普通科の各専門的な授業で生徒の専門的な知識や技術を高める達成度を75%にする。</p> <p>イ自己評価アンケートで、普通科の各コースに応じた行事を通して生徒の専門性を高める達成度を85%にする。</p> | <p><表現教育科> ア「ダンス」「楽器・ボーカル」「演技・声優」の表現教育科目を中心に「スピーチ」「ディベート」「プレゼンテーション」などの言語表現法など専門的な授業で生徒の専門性・自己表現力・コミュニケーション力を高めるという達成度は87.5% (○) だった。身体表現の授業で、生徒の自己表現力を高める達成度が100%になり、生徒が自分に自信を持って授業に取り組んでいる様子が出てきている。</p> <p>イ発表する行事を通して自己表現力と専門性を高めるという達成度は100% (◎) となった。先輩たちが道筋を作ってくれたおかげで、イメージができてきている後輩たちの表現力は年々クオリティが高くなってきている。今後もひとり一人の個性が発揮できるように、行事の計画準備を更に完成度の高いものを目指し、生徒たちの自己表現力と専門性を高めていきたい。</p> <p><普通科> ア「美容実習」「メイク実習」「ネイルアート」「ファッション造形」「ピアノ」「朗読」の実習授業で専門的な技術を身につけるという達成度は50% (△) となった。また「ショップコーディネート」「チャイルドヘアメイク」「キッズイングリッシュ」「保育理論」などの専門的な授業で知識の習得に関する達成度は60% (△) となった。新しくできたライフデザインコースでは「秘書技能検定」「硬筆書写検定」で資格取得者もあり、将来の進路選択につながり、専門性を高めている。</p> <p>イ各コースに応じた行事で各コースの生徒の専門性を高めるという達成度は73.3% (△) となった。完成度の高い行事であるために、年々求めるものは高くなっている。常に達成度を高めていくためには、それぞれの行事のPDCAによる総括を元に、企画・準備をしていき更により良い行事を作っていきたい。そして充実した学校行事の運営に努めていきたい。</p> |

| | | | | |
|-------------------------------------|---|--|---|---|
| <p>2. 個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現</p> | <p>(1) 目指す進路の実現をする。 <表現教育科> ア「勉強塾」の取り組み</p> <p>イ「自習室の開放」、「朝学習」の取り組み</p> <p><普通科> ア「つまずき0プロジェクト」の取り組み</p> | <p><表現教育科> ア・「勉強塾」では、国公立大学・難関私立大学の進学実績を上げるために放課後7・8・9限目に、目指す生徒対象に2年次までは本校教員により授業形式・個別指導形式で行い、3年次では外部の予備校講師による受験対策講座を実施する。</p> <p>イ・家庭学習の習慣がなかったり、学校以外に学習する場がない生徒がいる中、「セミナー」、「自習室の開放」「早朝テスト」を活用し、勉強が苦手な生徒にも学習する場を与え、学習習慣を身につけさせる。</p> <p><普通科> ア・「つまずき0プロジェクト」では「数が苦」を「数楽」にする。苦手な数学を小学生の問題までさかのぼり、どこでつまづいてしまっているのかを確認し、本校のオリジナルテキストを使用し徹底的に苦手分野に取り組み克服する。 ・朝礼前には「0限目授業」、朝礼中は早朝テスト「朝漢（あさかん）」、定期考査前の放課後には「寺小屋」、土曜日の放課後には「イングリッシュカフェ」に取り組み、個々に応じた学習環境を整備する。</p> | <p><表現教育科> ア「勉強塾」参加生徒の希望する進路の実現率を85%にする。</p> <p>イ平成28年度卒業の表現教育科3期生の進路決定率が95%にする。</p> <p><普通科> ア自己評価アンケートで個々に応じた学習環境の整備により学習する場を与える達成度を70%にする。</p> | <p><表現教育科> ア「勉強塾」参加生徒の希望する進路の実現率が80%（○）となった。関西大学文学部に一般入試で現役合格する生徒が出た。外部の進路カウンセラーと本校の進路チーフとチームを組み、生徒の希望に沿うように面談を実施。外部模試を活用させながら、モチベーションを上げ受験対策を実施し、成果が出た一年であった。</p> <p>イ平成28年度卒業の表現教育科3期生の進路決定率が87%（○）であった。勉強塾参加生徒だけでなく、専門性を高めるために希望進路を目指す生徒、自分の可能性を求める生徒、ひとり一人が目指す進路に合わせて、面談を繰り返しながら、本人の希望する進路実現のサポートを実施。</p> <p><普通科> ア個々に応じた学習環境の整備により学習する場を与える達成度が36.7%（△）となった。 「つまずき0プロジェクト」の一環として「寺小屋」を引き続き実施。教員も複数入って、参加生徒に対し丁寧に指導をしてきた。数学だけでなく、「イングリッシュカフェ」も他教科の先生も参加して楽しく英語と触れ合う機会を持った。 「0限目授業（通称：モーニング数学）」については、定期考査対策として全学年で実施。コツコツとした指導を積み重ね、生徒に自信をつけることで学習習慣を身につくようにしていきたい。漢字検定にもつながる早朝テスト（通称：朝漢 あさかん）も引き続き実施できた。</p> |
| <p>3. 身だしなみ・マナー指導による女子教育</p> | <p>(1) 生徒のマナー意識を高め、身だしなみを整える。 ア「リベルテマナー」（社会生活3つの基本）の取り組み</p> <p>イ身だしなみ指導の徹底</p> | <p>ア・「リベルテマナー」（社会生活3つの基本）として「挨拶・返事・言葉遣い」を大切にし、リベルテ美人（身だしなみが整い、マナーが良いリベルテ生のこと）を目指す。</p> <p>イ・身だしなみ指導として、頭髪・服装指導を徹底する。自分の母校となる学校の制服にプライドを持たせ、身だしなみを整えることにより、より本校の魅力を示す。</p> | <p>ア自己評価アンケートで生徒のマナー意識を高める達成度を80%にする。</p> <p>イ自己評価アンケートで生徒の身だしなみ・頭髪・服装指導を徹底する達成度を90%にする。</p> | <p>ア生徒のマナー意識を高める達成度が59.4%（△）となった。目標数値より下回っているが、生徒のマナー意識は年々向上してきている。校内だけでなく校外でも生徒からの挨拶が当たり前になってきている。先輩が良い手本になってきている証拠である。運動部員だけでなく部員以外の生徒たちも、気持ちの良い挨拶をすることができている。コミュニケーションにおいて大切な返事や言葉使いについても今後、意識を高めていきたい。</p> <p>イ生徒の身だしなみ指導を徹底する達成度が81%（○）となった。マナー意識と同様に年々身だしなみ意識も高くなっては来ている。達成度については、目標数値を超えることができていないので、更に、自分の学校を大切にして、より自分の母校にプライドを持たせ、身だしなみから整える意識を醸成していく。そして本校の制服の良さや魅力も示していきたい。</p> |